

小学校における情報モラルに関する実態調査と 情報モラルの育成について

埴岡 靖司*1

情報モラルの指導と言っても関連する分野は多岐にわたる。また、児童の意識調査を進めるにも、調査項目の設定にもまだまだ分からないことが多い。本実践では、情報モラルにかかわるさまざまな項目を考えて実際に調査することで、小学校における情報モラルに関する調査項目の一例を示す。

<キーワード> 情報モラル, ネットワーク, 特別活動, 小学校

1. はじめに

「先生、インターネットを使って今日のニュースを調べていいですか。」という会話は、教室で日々響き渡る児童からの確認である。

児童を取り巻く情報環境は日々進化している。しかし、最新の情報環境の中で情報モラルに関わって児童の心が育っていないと、児童はいつ危険な目に遭うのか分からない。また、知らず知らずに加害者になるかもしれない。冒頭の会話のように、確認することが一つの約束として育つことが大切である。そこで、児童の情報モラルやルール・マナーに対する意識や実態を明らかにし、情報モラルの育成に関わるカリキュラムを作成したいと考えた。しかし、まだまだ研究が始まったばかりの分野であるため、児童の実態をつかむための調査項目設定や児童の実態が明らかになっていない。

2. 研究について

本研究を通して、情報モラルに関わって次のことを明らかにしようと考えた。

- ・情報に対する児童の実態を知る質問項目を明

らかにする。

- ・小学校の実態を明らかにする。

本校は2004年2月にコンピュータが更新された。その折りに、岐阜県情報スーパーハイウェイに接続しブロードバンド環境となった。40台のコンピュータがあるコンピュータ室1つと、各教室に1台のコンピュータがある。今回、調査を行った学級は、小学校5年生1学級（男子18名 女子17名 計35名）である。

3. 意識調査

- (1) 情報に対する児童の実態を知る質問項目について

情報モラルに関わる実態調査項目を9点とした。

IT 機器所有, 活用の実態

IT 機器への意識

人間関係構築の実態（聞く, 話す, 書く）

ニュースソース

コンピュータの普及への意識

価値判断

メディアと表現

メディアと伝達

コミュニケーション

*1 HANIOKA Yasushi : 山県市立富岡小学校 (〒501-2104 山県市東深瀬 30)

これらの項目を細分化して66の質問項目を設定し、調査を行った。

(2) 児童の実態について

調査時期：2005年1月27日

1) IT 機器所有、活用の実態について

携帯電話ではメール、コンピュータではWeb閲覧と機器によって回答に差が見られた。共通していることはゲームをすることである。また、多くの児童は自分のコンピュータ、携帯電話を所有していない。

		はい	いいえ	無回答
1	携帯電話で、電話をしたことがありますか。	33	2	0
2	携帯電話で、電子メールを送ったことがありますか。	19	16	0
3	携帯電話で、ゲームをしたことがありますか。	27	8	0
4	携帯電話で、ホームページを見たことがありますか。	8	27	0
5	自分の携帯電話をもっていますか。	3	32	0
6	コンピュータで、電子メールを送ったことがありますか。	4	31	0
7	コンピュータで、ゲームをしたことがありますか。	32	3	0
8	コンピュータで、ホームページを見たことがありますか。	35	0	0
9	自分のコンピュータをもっていますか。	3	32	0
10	自分専用のホームページをもっていますか。	1	34	0
11	自分専用のホームページがほしいですか。	7	28	0

2) IT 機器への意識

見覚えのないメールは無視すると答えた児童は100%である。携帯電話使用は迷惑にならなければ使ってもよいと考えている。インターネットはすぐ調べられることが便利であるが、デマやうそが多いと考えている児童が多い。

		だめだ	迷惑にならない方がいい	特に気にしない
2. 携帯電話、コンピュータ、インターネットがある生活について聞きます。	電車やバスの中で他の人の携帯電話が鳴り、その人が話をはじめました。あなたはどのように思いますか。	14	15	6
	電車やバスの中で他の人が携帯電話を使い、その人がメールをうちはじめました。あなたはどのように思いますか。	8	16	11
	見覚えのない人からあなたの携帯電話にメールが来て、返事がほしいと書いてありました。あなたはどのようにしますか。	0	35	

インターネットを使っていて、便利に思うことは何ですか。	すぐに調べることができる。1.1	分らないことを教えてくれる。4	自分の知りたい情報を検索して多く手に入れることができる。2	辞書辞典で打てばすぐわかる。1	漢字が調べられる。1
あまりよくわからない。自分なりに調べようとする。1.4	簡単にわかる。具体的な情報がわかる。自分の調べたい情報が手に入る。1	いろいろなもの情報がある。1	言葉がわからないから便利。1	知らない人がメールなどを入れてくるから。1	お金がかかる。1
反対にインターネットを使っていて不便に思うことは何ですか。	うそがある・デマが多い。1.4	邪魔になる。5	こねくりやすい。1	知らない人がメールなどを入れてくるから。1	お金がかかる。1
悪いことがある。こわい。何かにつながる。やばいこと。	自分の知りたい情報が無い。1	漢字変換。読み方が同じ漢字がでてくること。1	悪いことにつながる。1	悪化。漢字が調べられる。1	悪化。漢字が調べられる。1

3) ニュースソース

テレビ、新聞でニュースを得ることが多い。

ニュースを主にどのような方法で得ていますか。	テレビ	新聞	インターネット	人の話	ラジオ	無記入
	21	15	3	3	1	1

4) メディアと表現

家庭でコンピュータを活用する時間は1時間前後であり、多くは大人がいないところで、約束もなく使っている。

家でコンピュータを使うとき、その目的は何か。	遊ぶ	勉強	買い物	インターネット	音楽	メール	その他
家でコンピュータを使う目的は何か。	8	14	4	12	7	1	1
家でコンピュータを使うときの頻度はありますか。	5	26	4	1	1	1	1
家でコンピュータを使う目的は何か。	情報収集。9	ゲーム。7	学習のための資料収集。6	学習。勉強。3	キーボード練習。2		
あなたは家で1日平均どれくらいの時間コンピュータを使っていますか。	0分-10分。5	10分-30分。10	30分-60分。13	1時間から。2	1時間30分。0	2時間以上。1	無記入。4
学校では、どの時間にコンピュータを使っていますか。	朝。17	昼間。5	昼休み。11	放課後。5	授業中。32		
家でコンピュータを使う場所は、明るい部屋ですか。			はい。30	いいえ。1	無回答。4		
家でコンピュータを使うとき、画面から30cm以上はなしていますか。			はい。29	いいえ。3	無回答。3		

5) コミュニケーション

児童の多くは、電話で連絡を取り合い、相手が読みやすいように文章を書こうとしている。

知らせたいことがあるとき、あなたは主にどのような方法で伝えていきますか。	電話	手紙	ファックス	電子メール	ビデオ	直接会う
	30	9	2	4	0	11
あなたは、文章を書くときにはどのように書く(主題)。	まとめがわかりやすいように書く。10	読む人が読みやすいように書く。27	根拠をはっきりして書く。4	話の順序を考慮して書く。8	絵・図・表を使ってわかりやすく書く。7	その他。0

4. おわりに

小学校段階では児童の周りの大人の言動が、児童の意識や態度に影響を及ぼすことがわかった。「見覚えのない人からあなたの携帯電話にメールが来て、返事がほしいと書いてありました。あなたはどのようにしますか。」という問いに対して、「無視する」と答えた児童が100%であるのは、担任が普段から誰だかわからない人からのメールは無視するように話しているからだと推測できる。と考えると、児童には適切な時期に適切な指導を行うことが望ましい。どんな内容をいつ指導するのかを明らかにするために今回の実態調査が必要である。今回のアンケート分析から小学校中学年対象の質問事項を確定できた。今後、多くの学校でアンケートを行い、今、小学校で抱える問題を明らかにしていきたい。